

写真展で紹介している祭など

地区	祭・伝統行事
神島	ゲーター祭、船祝い、年祝い、やりましょ舟
答志	八幡祭
和具	八幡祭
桃取	御棚神事、御神祭弓引き神事、湯立て祭、笹舟流し、オイヤレ
菅島	弓祭り神事、しろんご祭
坂手	天王祭棒練り
安楽島	弓立神事、御魚取神事
松尾	松明行事（火祭り）
河内	柱松行事（火祭り）
国崎	八幡祭弓打ち式、ノット正月、御潜神事、二舟祭
相差	荒獅子舞
千賀	しょうろさん送り
鳥羽	春祭獅子と天狗の舞

鳥羽の各地域では、今も多くの伝統行事が継承されています。地元の祭については幼いころから体験し、よく知っているかたも多いかもしれませんが、ほかの地区の行事について知る機会はあまりないのではないのでしょうか。

用具や模型などを展示しています。また、鳥羽の各地域で古くから伝承されてきた祭や行事を撮影した「北出正之写真展『鳥羽・祭人の祈り』」を開催中です。

北出さんは、1954年生まれ。津市在住で写真歴は50年。郷土三重に重点を置いて、地域に密着した被写体を選び、近年は特に祭や伝統行事に傾注して活動を続けています。

今、全国各地で人口の減少

なるほど！うみはく
海の博物館で鳥羽の祭に
出逢う

市立海の博物館
☎ 32 6006



和具八幡祭

開催期間 12月22日(日)まで
午前9時～午後5時(12月1日以降は午後4時30分まで)
ところ 市立海の博物館
フォトギャラリー

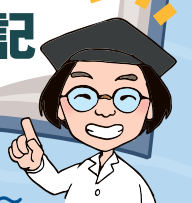
や高齢化などの問題から祭りや伝統行事の開催が難しくなってきたり、市内でも地域の祈りや願いの拠りどころとして守り継がれている行事がある一方、ゲーター祭(神島町)、天王祭棒練り(坂手町)、火祭り(松尾町、河内町)などが休止になっています。今回の写真展では、休止になっている行事の写真5点を含む25の祭や伝統行事の写真を展示しており、躍動感あふれる写真を通じて、祭や行事の様子を目にすることが出来ます。

ぜひ、海の博物館で写真や展示を通して、祭や行事に込められた地域の想いに触れてください。



河内柱松行事(火祭り)

鳥羽・海藻文化革命
岩尾博士の
海藻博物記



vol.10

～スサビノリの話～

水産研究所 ☎ 25 3316



海面に広がる育苗中のノリ網



ひと網ずつ船で回り、様子を
見ながら網を上げていく



きれいなノリ芽がみ
られる網



顕微鏡で見ると、ノリ
芽の根元に小さな二
次芽がみられる

この時期、鳥羽の海では黒のり(スサビノリ)の育苗が行われている。スサビノリは本来、干潟や浅瀬の岩礁上に生えるため、干出時に紫外線や乾燥にさらされる必要がある。しかし、鳥羽海域での黒のり養殖は常時海水に浸った状態で行われるため、人工的に干出させなければならぬ。

漁師さんが10月末ごろから3週間程度、可能な限り毎日養殖場へ通い、適度な乾燥に至るまで網を手作業で上げる。必要ならポンプで海水を

打ち、付着した植物プランクトンなどを落とす。天候によって網の乾燥具合が異なるため、上げ終わった網をすぐに下す場合もあれば、休憩しながら海面でタイミングを待つこともある。10日くらい経つと白い網がうつすらと茜色に色づいてくる。これを顕微鏡で観察すると、少し育ったノリとまだ小さいノリ芽(二次芽)が並んでいるのが分かる。ノリの先端からこぼれた胞子が育ったものを二次芽と呼ぶが、この二次芽が多いものは、良質なノリを長い間生産することができる良い網とされている。

きめ細かな育苗技術に加え、自分たちで行う陸上採苗の技術が洗練されていること、さらに、海環境が相まって良い網を生み出すことが許されるのである。